



鳥取市教育センターだより

第2号 令和2年7月14日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

新しい生活様式の中でも「つながり」を大切に！

所長 東田 重高

あと2週間で夏休みに入ります。新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策を含めて、健康管理に気をつけなければならない時期となりました。

さて、年度当初から新型コロナウイルス感染症対策で多くの行事を含めた教育活動が中止や延期となりましたが、各校では、工夫しながら本来の学校生活を取り戻す対応を続けておられることに感謝を申し上げます。また、有効性が確認されたワクチンが存在しない中で、学校における「新しい生活様式」の導入が提案され、感染及びその拡大リスクを低減しつつ、教育活動を継続し、子どもの学びを保障していくことが求められています。



子どもたちにとっては、楽しみにしていた行事や活動がなくなり、自分の活躍場面をうまく見つけることができなくて心にストレスを抱えるなど、今後もサポートが必要です。「3密の回避」対策として、「分散、非接触、ソーシャルディスタンス」等をよく聞きます。学校において、子どもたちが当たり前に行っていた生活「人とのかかわり」を通しての学びが、変更を余儀なくされています。ソーシャルディスタンス（社会的距離）を求められますが、「つながり」（心の距離）は、今まで通り離してはいけません。

市教育委員会は、本年度「豊かなかかわりによる『自己有用感』の育成」を目標に掲げて取組を進めています。この取組を、児童生徒の自発的・自治的な活動で計画・実践することが重要となります。他者への労りや感謝の気持ちを持って友だちとかかわり、その中で子どもたちが楽しさや達成感を感じてほしいと願っています。例年より推進しにくいこともありますが、他者とかかわりを大事にしながら、子どもたちが互いに自己有用感を高めることができるよう、「心のつながり、人のつながり、学びのつながり」を意識してサポートを続けていきたいものです。



【教育センター玄関メダカ】

学校（教職員）が、児童生徒・保護者・地域の信頼を得てこそ、その役割を果たすことができます。今後も様々な対応が続きますが、みんなで力を合わせて難局を乗り越えていきましょう。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、教職員研修を Web 会議による遠隔講義で行っています。

6月11日（木）中堅教諭等資質向上研修②・6年目研修①から始まり、7月14日（火）道徳教育推進教師研修で9回目の実施となります。

遠隔講義を受講した先生方からは、「(移動時間がなく)時間を有効に活用することができた」「感染拡大を防ぐためには Web 会議はよいと思う」「先生と1対1で講義を受けているような感覚になり、聞きやすかった」といった遠隔講義のよさについての感想が寄せられました。

一方で、「講師の先生と直接お会いできないのは残念」といった声や「音声途切れて聞きづらいときがある」といった通信状況に関する意見もありました。

8月から集合研修を再開予定ですが、今後の状況によっては遠隔講義に変更もありえますので、鳥取市教育センターからの連絡にご留意ください。



鳥取市 Wi-Fi によるインターネット接続環境整備費助成金制度

鳥取市では、市立の小・中・義務教育学校に在籍する児童生徒の家庭に対して、新たに Wi-Fi によるインターネット接続環境を整備する費用の一部を助成する事業を行っています。

これは緊急時に、ICTを活用することで学校と家庭との連絡や児童生徒の状況把握、学習支援を行うことを目的としています。

緊急時に備えて、インターネット環境が整っていない家庭に対して、この助成金のことを積極的にご紹介ください。

詳しくはこちらのQRコードから市教育センターホームページをご覧ください。



校内OJTで若手教員育成を！

5月下旬から初任者研修・新規採用養護教諭研修として「初任者学校訪問」を行いました。先生方の笑顔あふれる表情、机間指導で丁寧に関わりながら指導されている姿、安心・安全に留意した居心地の良い教室環境整備等、児童生徒一人一人を大切に実践を拝見することができました。初任者の努力の成果もありますが、先輩先生方の助言やアドバイスが初任者の力となっています。今後も、校内外の研修を活用しながら、初任者を含む若手教員育成に向けた取組を期待しています。



<初任者の声>

- ・算数が苦手な児童が、振り返りで「分かってうれしかった。明日の授業も楽しみ。」と書いてくれたことが、とてもうれしかったです。
- ・学級会で話し合ったことを取り組んだ結果、時間通りに給食の後片付けが完了でき、みんなで拍手して喜びを分かち合うことができました。最高のひとときでした。
- ・日々、生徒と関わりながら、以前できていなかったことができるようになっていく姿を見て、生徒の成長を感じることができ、うれしい気持ちと、また頑張ろうという気持ちになります。